

## 今年度の実証対象技術について

今年度の実証対象技術として、次の3件の応募があり、3件とも採択された。

実証単位	実証対象技術	実証申請者名
実証単位 (A) システム全体	山梨県中央市の道の駅「とよとみ」における 液状化対策グラベルドレーン活用の 地中熱利用冷暖房システム	株式会社 秀建コンサルタント
実証単位 (A) システム全体	鹿児島県薩摩川内市の 株式会社日本地下技術川内支店における 地中熱利用冷暖房システム	株式会社 日本地下技術
実証単位 (B) 地中熱・下水等専 用ヒートポンプ	MD I 簡易ヒートポンプチラー MDIHP-L-W/W	MD I 株式会社

地中熱の実証事業の平成 26 年度の経過は次のとおりである。

ETV（地中熱）の平成26年度の事業の経過

月日	項目	主な内容
(25年度) 3月11日	(第2回技術実証検討会)	①平成26年度用の実証試験要領が承認された。
(26年度) 6月12日	実証対象技術の募集開始	実証単位(A)は6月27日、実証単位(B)、(C)は10月31日に募集締め切りの予定
6月27日	実証単位(A)の募集締切	実証単位(A)2件、実証単位(B)1件の応募申請があった。
7月14日	第1回技術実証検討会	①平成26年度事業計画が承認された。 ②実証対象技術の選定審議があり、応募の3件の選定が承認された。 i)実証単位(A)システム全体 ㈱秀建コンサルタント ii)実証単位(A)システム全体 ㈱日本地下技術 iii)実証単位(B)地中熱・下水等専用ヒートポンプ MDI㈱
7月下旬	実証単位(A)の試験開始	
8月29日	実証単位(B)、(C)の募集締め切り	選定した上記3技術の実証試験・結果解析等が本格的に始まることと、その後特に応募問合せがなかったため。
9月上旬	第1回分科会	①実証試験の中間報告等。(非公開)
11月下旬	実証単位(B)のヒートポンプ試験実施	
12月上旬	第2回分科会	①実証試験の中間報告等。(非公開)
2月上旬	実証単位(A)の試験終了	
2月中旬	第3回分科会	①実証試験結果報告書(案)の検討等。(非公開)
3月20日	第2回技術実証検討会	①実証試験結果報告書の審議 ②実証試験要領の改定案の審議